



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)生活協同組合ハルシステム神奈川 横浜東センター	階数	地上2F
建設地	神奈川県川崎市東神奈川区東前田2375番1ほか1筆	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年5月4日
敷地面積	3,270㎡	作成者	(株)大川設計
建築面積	1,391㎡	確認日	2021年5月5日
延床面積	2,371㎡	確認者	(株)大川設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 第1種住居地域の用途地域に事務所(配送センター)を計画した。		その他 将来、太陽光パネルが設置できるよう積載荷重を考慮した設置スペースの確保。 事務所に扇風機を設置し、空調への負荷軽減に配慮。 デマンドを設置し、使用電力を管理。
Q1 室内環境 F★★★★をほぼ全面的に採用。	Q2 サービス性能 快適な空間。 維持管理が容易な仕上。	Q3 室外環境(敷地内) 標準的な屋外環境づくり。
LR1 エネルギー 建物の熱負荷を考慮した、窓配置、断熱材計画。	LR2 資源・マテリアル Mの節水の配慮。	LR3 敷地外環境 交通負荷抑制を考慮した、配置計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

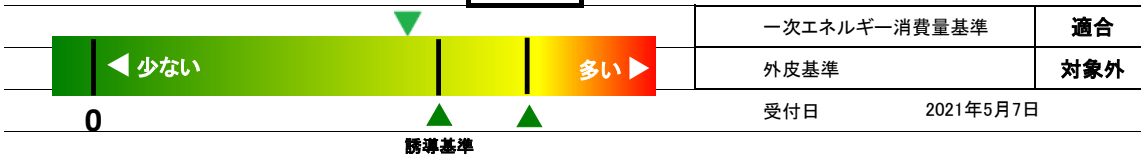
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)生活協同組合パルシステム神奈川 横浜東センター

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 27 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI_m=0.63 事務室の窓をLow-E複層仕様としている。

③BEI_m=0.73 室内外の照明をLFDとした。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫事務室の天井高3m。

⑬OA70アの採用。広い事務室。休憩室の設置。展示を予定したエントランスロビー。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)生活協同組合ハルシステム神奈川 横浜東センター

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境										2.9
1 音環境				2.6	0.15	-	-	-	-	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	-	-	-	-	-
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-	-	-	-
2 温熱環境				2.6	0.35	-	-	-	-	2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-	-	-
3 光・視環境				2.6	0.25	-	-	-	-	2.6
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-	-	-	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.60	-	-	-	-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-	-	-
4 空気環境				4.0	0.25	-	-	-	-	4.0
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境	5.0	1.00	-	-	-	-	-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	-	-	3.3
1 機能性				3.7	0.40	-	-	-	-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.5	0.40	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	5.0	0.33	-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	5.0	0.33	-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	-	-	2.8
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-	-	-
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 信頼性				2.4	0.20	-	-	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-	-	-
3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 対応性・更新性				3.3	0.30	-	-	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり				4.0	0.30	-	-	-	-	-
1 階高のゆとり				4.0	0.60	-	-	-	-	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)生活協同組合ハルシステム神奈川 横浜東センター

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	<非住宅>	<集合住宅>						
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	1.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7	
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.7	0.50	-	-	3.7	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4	
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5	
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.22	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.22	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6	
1 地球温暖化への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6	
2 地域環境への配慮			4.1	0.33	-	-	4.1	
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			4.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			5.0	0.70	-	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	

上記以外の重点項目								
<事務用途>								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	4.0	-	-	-	-	-
<住宅用途>								
健康と安心								
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-